

COIで構築した「社会課題解決型」プラットフォームのさらなる加速へ！

Before COI以前(2013年以前)

- ・個別のテーマ、分野間の壁
- ・個々の教員
- ・基礎研究を中心とした設備
- ・論文成果を重視
- ・学術的／専門的なネットワーク
- ・1対1共同研究
- ・社会実装や異分野融合は稀



After COIで構築したプラットフォーム

1 研究開発体制

- ・有機材料システム研究推進本部が発足
- ・6研究センターの連携協力体制を構築



2 人材集積

- ・企業から実用化・事業化経験人材集積
- ・異分野からの専門家、企業研究員参画

3 設備・機器

- ・世界クラスの応用試作、実証評価設備

4 研究成果・知財

- ・世界初の開発成果を多数創出
- ・実用化に繋がる高被引用論文・知財

5 教育研究体制

- ・有機材料システム研究科を新たに設置
- ・大学院教育と連携、国際インターンシップ

6 企業連携

- ・年間100件を超える共同研究
- ・多対多共同研究、アンダーワンルーフ

7 地域連携

- ・地域や産業界と社会実装成果を創出
- ・他大学との連携、海外ネットワーク

8 異分野との連携

- ・医工連携、農工連携、人文連携で成果
- ・建築・住宅・デザイン・介護等と連携成果

9 ベンチャー創出

- ・COI発ベンチャー3社設立
- ・社会実装目指すマインド変化

10 若手・女性活躍

- ・東北大、京大、立命館大等とCOI若手連携
- ・ダイバーシティ連携、シンポジウム開催

まとめ(担い手)



地域 山形県民人材1300人以上 企業 COI参加企業人材57人 大学 山形大学COI参加人材410人

未来の社会像、社会の価値をベースに社会課題を選択し、バックキャストで取り組み
多くの県民や企業人材、大学人材が参加し、元気になった事が最大の成果